

I 被災地図書館の復興状況

	野田村立図書館	大槌町立図書館	陸前高田市立図書館
1 現在の状況 (開館の目途)	平成24年5月21日 本館開館	平成24年6月1日 仮設図書館開館	平成24年12月1日 仮設図書館開館
2 復興・支援状況	施設の状況 BMの状況 資料の状況 職員の状況 支援状況		
	○被災を受けた施設を改築（一部増築）し開館。	○以前公民館図書室として利用していた中央公民館内の一室を仮設図書館として開館。 ○新館整備に向けて、「（仮称）大槌メディアコモンズ（MLA）」検討委員会が設置され、基本構造策定報告書が提出された。平成26年度に基本計画を策定予定。	○本館の建設は未定。 ○北海道ブックシェアリングから寄贈されたログハウスを仮設図書館として開館。 ○市内4館（私設を含む）の連絡会議を定期的に開催している。4館合同のスタンプラリーを実施。
	○なし。	○3台 BM：ニッセンから寄贈 絵本カー：県内支援団体から寄贈 ミニバン：支援団体から寄贈	○2台 BM：①滋賀県東近江市から寄贈 ②トミカ・イリファナ（MSジャパン株式会社）から寄贈
	○県内市町村図書館や遠野文化研究センター等の支援により充足しつつある。 ○蔵書冊数・現在2万2千冊（震災前2万冊）所蔵している。増築分のスペースがあるため、蔵書の充足に努めている。	○郷土資料は県内市町村図書館や遠野文化研究センター等の支援にいただいているが、もう少し増やしていきたい。 ○蔵書冊数・現在約4万冊（震災前5万2千冊）所蔵している。蔵書を充足していきたいが、書庫の確保が課題となっている。	○郷土資料は県内市町村図書館や遠野文化研究センター等の支援により充足しつつある。 ○一般資料は状況に合わせて寄贈等で収集中。 ○バリューブックスの支援により、ニーズに合わない寄贈図書を支援金に換える仕組みをとっている。 ○webOPACにより、蔵書検索が可能となった。 ○蔵書冊数・現在約2万5千冊（震災前8万冊）所蔵している。蔵書を充足していきたいが、書庫の確保が課題となっている。
	○村教育委員会職員 5名 ○嘱託職員1名 ・資料整理や資料受入作業等 ・村内小中学校へ出向き、学校図書室の運営を支援。 ○カウンター業務は複合施設の業務委託を受けた業者が対応。	○町教育委員会職員2名 ○緊急雇用臨時職員8名 ・資料整理、カウンター業務、BM運行等	○市立図書館職員2名 ○嘱託職員4名 ○緊急雇用臨時職員5名 ・資料整理、カウンター業務、BM運行等
	○県教育事務所（社会教育主事）が中心となり、バックアップイベント等を精力的に実施。	○臨時職員が多いため、実務研修を出前で実施してほしいとの要望あり、県立図書館が実施について検討中。	○臨時職員が多いため、実務研修を出前で実施してほしいとの要望があり、県立図書館が実施について検討中。 ○救済資料のうち他の図書館が所有していない51点の抜本修復を東京都立中央図書館に依頼。
	○寄贈図書については、読売ジャイアンツなどの団体や個人から多数の資料が寄贈されている。 ○図書資料の保存や補修の研修等を継続実施。 ○陸前高田市立図書館研修会を県立図書館で実施。		
3 その他の被災地図書館等の状況	○宮古市立図書館田老分室は、復旧工事や新たな書架等の設置が終了し、平成25年10月から本格的に再オープンを果たした。 ※その他の図書館、公民館図書室等は再開している。 ○山田町立図書館は平成25年10月から図書館システム導入。 ○岩泉町立図書館では、「東日本大震災被災体験談の記録集一あの日あの時、そして今」を発刊。 ○岩手県立図書館では、東日本大震災津波の記録誌（「いわての図書館2014」）を作成中。		

II 震災資料の収集状況等

1 呼びかけの状況	○震災当初から震災関連資料の収集を開始し現在も引き続いて震災関連資料収集の協力依頼を行っている。 震災関連資料コーナーの設置 H23年10月21日 プレオープン H24年4月1日 本オープン
2 収集状況	○図書 2,558冊 一枚もの資料 9,267点 雑誌 6,161冊 (H26年1月末)
3 その他	○国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）に平成24年1月10日から震災関連資料コーナーの書誌データを提供。 ○現在は「郷土教育資料に描かれた岩手のことばー沿岸被災地を中心にー」及び「「1097歩」～3年目の市町村～」の展示を行っている。

III その他

1 有事に備えた県内図書館間の相互応援	○平成24年11月14日に行われた公共・大学・専門図書館等連絡協議会において、岩手県内の館種を超えた図書館間の相互応援の申し合わせ事項が制定され、県内各グループに事務局が出向いて具体的な説明を進めた。 ○今後は平常時の取り組みに盛り込んで、郷土資料の情報共有等に取り組んでいきたい。
2 関連団体の動き	○これまで約10万冊の図書を被災地に本を届けるなど、被災図書館支援に大きな役割を果たしている遠野文化研究センターでは、平成24年4月より図書・支援金の新規受付を終了し、これまで寄贈のあった図書の整理や配本を中心に活動している。

図書館共同キャンペーン

図書館は震災記録を

収集しています。

永久に保存します。

公開し後世に伝えます。

東日本大震災は広大な範囲に甚大な被害をもたらしました。このキャンペーンに参加する図書館では、震災に関する記録を収集し、保存していく活動を行っています。なお、収集対象の資料、寄贈方法などの詳細は各図書館で異なります。詳しくは各図書館ウェブサイトをご確認ください。

資料収集実施館

公共図書館

岩手県立図書館／宮城県図書館
福島県立図書館／仙台市民図書館

大学図書館

岩手大学情報メディアセンター図書館
東北大学附属図書館／福島大学附属図書館
神戸大学附属図書館（阪神・淡路大震災関連資料）



ひなざく NDL東日本大震災アーカイブ

<http://kn.ndl.go.jp>

東日本大震災に関するあらゆる記録・教訓を次の世代へ伝え、被災地の復興・復興事業、今後の防災・減災対策に役立てられるように、公的機関、民間団体、報道機関等による記録・報告書や大学、学会、研究機関による学術研究の成果などを一元的に検索できるポータルサイトです。

岩手県立図書館

Iwate Prefectural Library

〒020-0045

岩手県盛岡市盛岡駅西通 1 丁目 7-1

いわて県民情報交流センター「アイーナ」内

TEL 019-606-1730 / FAX 019-606-1731

HP <http://www.library.pref.iwate.jp/>

E-mail homepage@library.pref.iwate.jp



交通アクセス

■JR 盛岡駅から徒歩 4 分

■東北自動車道盛岡 IC から車で 8 分



震災関連資料コーナー



岩手県立図書館

岩手県立図書館では、東日本大震災の記憶を風化させることなく後世に引き継ぐため、被害状況・救援活動・復興などに関する資料を収集し、公開する「震災関連資料コーナー」を平成 23 年 10 月 21 日に設置しました。

地域を支える情報拠点として、災害復興、防災対策などに役立ていただくためにも、震災に関する下記のような資料の収集及び公開に取り組んでいきます。

行政資料

臨時広報、災害対策本部情報、復興計画など

非売資料

避難所だより、ボランティアニュース、イベントのチラシなど

各種出版物

震災関連図書、雑誌の震災特集号、新聞など

その他

コーナーに配架している資料以外にも、震災後の全国地方紙新聞 44 紙（平成 23 年 3 月～5 月分）など閉架書庫にも資料がございます。

利用方法

◆コーナーに配架されている資料は自由にご覧いただけます。閉架書庫にある資料については、スタッフまでお尋ねください。

◆図書館では「レファレンス（調査相談）」というサービスを行っています。図書館の資料を利用して調べもののお手伝いをいたします。

例えば・・・岩手県内の津波浸水域、内陸部の地震被害 等

お調べになりたいことをご相談ください。ご相談はカウンタースタッフ、または当館ホームページ「レファレンスサービスのご案内」をご覧ください。

◆複写についてはカウンタースタッフにお尋ねください。

東日本大震災情報ポータル

当館ホームページでは、東日本大震災に関する情報支援を行っています。
(<http://www.library.pref.iwate.jp/O311jisin/>)



関連資料目録

当館の所蔵資料から、地震や原発など震災に関するさまざまなテーマの資料をご紹介します。

岩手の災害史

過去の災害史についての資料目録・ブックリストがご覧いただけます。

関連リンク集

「いわて復興ネット」(岩手復興局)など復興関連の各機関のホームページへアクセスすることが出来ます。

新聞記事索引

岩手県内の地方紙・地域紙を対象に東日本大震災関連記事の見出しを確認できます。

東日本大震災による岩手県の被害状況

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分ー。東日本大震災が発生しました。この地震は岩手県各地に深刻な被害をもたらし、特に沿岸地域を襲った津波による人的・物的被害は甚大なものとなりました。

県内観測震度	震度 6 弱
津波 (調査地点)	最大遡上高：40.1m (大船渡市三陸町綾里南側湾口)
死者	4,672 人
行方不明者	1,151 人
家屋被害 全壊・半壊	24,916 棟

※『岩手県東日本大震災津波の記録』（岩手県 平成 25.3）

過去の災害

岩手県は、これまでも地震や津波など、幾度となく天災に見舞われ大きな被害を受けてきました。岩手県立図書館ではこうした過去の災害に関する資料もご覧いただけます。

震災関連資料寄贈のお願い

岩手県内に関するこのような資料を収集しています。

- ◆震災関連の記録集、写真集など
- ◆震災に関する調査報告書など
- ◆復興に関する計画書など
- ◆震災関連のイベント・セミナー・相談会等のチラシや配布資料など
- ◆個人・団体が作成した手記・文集など
- ◆各種の活動記録（ボランティア関係資料・避難所だより）など
- ◆震災に関する内容のフリーペーパー、ミニコミ誌、チラシなど

寄贈方法

- ご持参いただくか、下記宛先にお送りください。（郵送等の場合は、恐縮ですが送料のご負担をお願いいたします。）
- 可能であれば、3部ご寄贈くださいますようお願いいたします。

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通 1-7-1

岩手県立図書館 震災資料担当

※なお、ご寄贈いただきました資料の取扱いについては、県立図書館に一任いたしますよう、お願いいたします。